



## 平成28年度版「とよはしの環境」の発行について

豊橋市の自然環境、生活環境や環境行政の推進状況等について、市民や関係者等に幅広く知っていただくための資料として「とよはしの環境」を発行しましたので、その概要をお知らせします。

### 1. 自然環境の概要

#### (1) アカウミガメの産卵状況（P. 23）

項目	平成27年度（平成26年度比）	
上陸回数	52回	(△49回)
産卵総数	25巣	(△28巣)

■平成26年度に比べ、上陸回数・産卵総数ともに減少した。今後もふ化場（保護柵）の活用や啓発活動を通じ、アカウミガメの保護対策を積極的に実施していく。

### 2. 生活環境の概要

#### (1) 大気、水環境の状況（P. 34～71）

○大気環境については、市内の7測定局で大気汚染常時監視を実施した。

- ・光化学オキシダント全5測定局の結果を除き環境基準を達成した。
- ・光化学スモッグ予報が3日発令されたが健康被害はなかった。
- ・PM2.5の注意情報の発令はなし。

○水環境については、河川、海域など52地点で水質調査を実施した。

- ・海域の一部のCODを除き環境基準を達成した。
- ・健康項目については29地点で行い、地下水1地点を除き環境基準を達成した。

■環境基準未達成物質への対策として、原因物質の削減など事業場の監視・指導に努める。

### 3. 廃棄物の概要

#### (1) ごみ処理費用の状況（P. 11～12）

項目	平成27年度（平成26年度比）	
清掃費用総額	5,314,695千円	(+0.004%)
ごみ処理及び維持管理費等	5,069,201千円	(+0.7%)
し尿処理及び維持管理費等	245,494千円	(△12.1%)
市民1人当たり処理経費	11,180円	(△1.7%)

■ごみ処理費用・維持管理費等は資源化センターの施設維持整備工事により増加した。一方で、し尿処理費用・維持管理費は、共通施設（配電盤等）の工事等がなかった影響で、26年度に比べ減少した。結果として、清掃費用総額は微増であり、市民1人当たり処理経費は減少した。

(2) ごみ量の状況（速報値）（P. 97～98）

項 目	平成27年度（平成26年度比）	
収集量	139,136 t	（△0.1%）
市民1人1日当りごみ量*	746 g	（△0.5%）

※家庭収集ごみと持ち込みごみ（災害ごみを除く）、資源回収量を加えた家庭系ごみを人口割および日数割したごみ量

■市民1人1日当りのごみ量は減少しているものの、他都市（県内平均 700g）と比べて多く、さらなる減量が必要である。

(3) 資源リサイクルの状況（速報値）（P. 98）

項 目	平成27年度（平成26年度比）	
資源化量	25,929 t	（△1.5%）
リサイクル率	18.0%	（△0.3ポイント）

■リサイクルステーションアピタ向山店及びふれあいコープあ・ん・ずの廃止により回収拠点での古紙・布類の回収量は減少した。また、地域資源回収の積極的なPRにより回収量の減少幅は小さくなったが、全体として資源化量は減少した。リサイクル率の向上のためにも、新設したリサイクルステーションあずまも含めた拠点回収場所の周知及び地域資源回収実施の呼びかけを行う。

#### 4. 環境行政の推進の概要（主な追加事項）

(1) 豊橋市災害廃棄物処理計画（平成28年3月策定）

大規模災害により大量に生じる廃棄物等を迅速かつ適正に処理するために、平成28年3月に「豊橋市災害廃棄物処理計画」を策定した。

■県内で最も早く災害廃棄物処理計画の策定を行った。平成28年10月に策定された愛知県災害廃棄物処理計画等と整合を図るため随時改訂を行っていく。

#### 5. 閲覧場所（予定）

○豊橋市ホームページ

URL：<http://www.city.toyohashi.lg.jp/8392.htm>

○環境政策課、じょうほうひろば、中央図書館

【問い合わせ先】

環境政策課 課長補佐 若子尚弘 ☎51-2402